

# あおもり漁連

代表理事長 植村正治 書

## 資源有限漁業無限

No.  
144



青森県漁民大会

## CONTENTS

青森県漁民大会	1	平成18年度北海道・東北漁船海難防止連絡協議会	11
国・県への要請活動	3	平成18年度青森県漁協系統購買担当者会議	12
大型クラゲ出現状況	4	県内漁協合併進捗状況	12
むつ湾漁業振興会設立30周年記念式典・祝賀会	5	浜の情報・話題	
平成18年度青森県豊かな海づくり大会	7	J F青森漁連流通課	13
第6回青森県和船競漕大会	8	J F共水連青森	13
平成18年度東北・北海道漁協専務参事懇談会	9	水産に関する主な動き(7月～10月)	14
青森県さけます増殖流通振興協会設立総会	10	県内漁協紹介(石持、野牛、岩屋漁協)	15

2006 11

21世紀は漁村の時代

# 二十一世紀の活力と魅力溢れる漁村づくり 「青森県漁民大会」開催

り」を目指し、持続可能な漁業と安全操業の確立、併せて、浜の声を国政に届けるための水産政治力の結集を目的として開催された。



## 「青森県漁民大会」会場風景

力と魅力溢れる「青森県漁民大会」が開催された。

出席した衆・参の国会議員約百六十人に対し、資源の持続的利用と、沿岸と沖合漁業が共生できる体制の確立、漁業者の経営の安定を強く訴えた。





植物今昔拾掇



能公副木部長

べた。来賓の山崎力参議院議員の挨拶に続き、鈴木重令三沢市長（吉田助役代読）が「水産業界に新たな局面展開が求められている時に、こうした大会を開くことは大変意義あること。三沢市沖は好漁場で、釣漁業、網漁業、大型漁船、小型漁船が集中し、トラブルが絶えない海域となつて

（続）が「漁業の再生と魚の存続する海づくりの実現に向けて、県としても全力を挙げていく。

すでに攻めの農林水産業を展開し、安全・安心な水産物の供給、山と海と川を結ぶ循環型自然環境保護、知事を先頭とするトップセールスの実施、トレーサビリティや衛生管理型漁港づくりなど、諸施策を講じている。これらを通じて水産先進県としての地位を保つていきたい」と述べた。

ため、漁業者の努力だけではこの窮状を打開できずにいる。漁業共済や基金制度を充実させたセーフティネットを構築しなければ漁業者は生活していく不可以ない。融資・保証制度や漁村活性化事業など、制度の充実と政策的な支援が不可欠であることを踏まえて、青森県では県の行政組織に水産局を設置した。これを国政に反映するためにも、オール水産の力で漁業者の代表を国に送らなければならぬ」と主催者を代表して挨拶した。

いる。こうしたことが起らぬよう棲み分けができる漁業秩序を確立してもらいたい」と挨拶した後、壇上の来賓が紹介された。



(川端会長) 意見表明

# 国・県への要請活動 青森県漁民大会決議採択による国・県への要請！

平成十八年十月三十一日に開催された「青森県漁民大会」において大会決議が満場で採択され、採択された内容を十一月六日（月）青森県漁業経営安定対策本部（植村本部長）青森県漁業協同組合連合会（植村会長）青森県信用漁業協同組合連合会（古川会長）青森県定置漁業協会（西崎会長）青森県東部海域漁業協議会（澤口会長）青森県小型いか釣漁業協議会（植村会長）の連名で、青森県知事・県議会議長・青森県海区漁業調整委員会会长（東部会長並びに西部会長）にそれぞれに要請を行なった。

さらに、十一月八日（水）に水産庁長官はじめ各部署並びに本県選出の国会議員、全漁連、全国いか釣漁業協議会にそれぞれに同様の要請を行なつた。

## 青森県等への要請者

國等への要請者	信 漁 連 会長	古 川 俊 俊
県 漁 連 会長	信 漁 連 常務	古 川 義 三
常務 小 出 口	信 漁 連 小 出 口	佐 藤 博
小 出 久 保 泽 口	信 漁 連 久 保 泽 口	川 端 昭 治
政 正 沢 口	信 漁 連 政 正 沢 口	澤 口 俊 俊
明 正 沢 口	信 漁 連 三 俊 明 正 沢 口	植 村 正 沢 口

水産庁長官要請



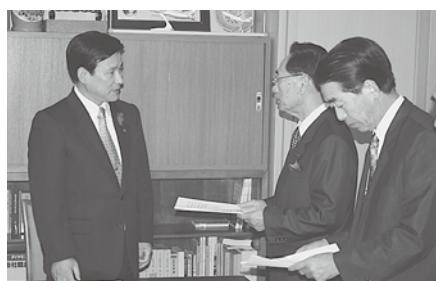
議員要請



知事要請



出納長要請



信 漁 連 会長 古 川 俊 俊  
県定置漁業協会 会長 西 崎 義 三  
県いか釣協議会 委員 佐 藤 博  
下北水産振興会 会長 川 端 昭 治



県に要請書を渡す植村会長

五・漁港施設の早期復旧措置

- 一・天災融資法の早期発動及び激甚災害法の適用措置
- 二・漁船、漁具等の被害に対する支援措置
- 三・既存の貸付制度資金に係る償還条件の緩和措置
- 四・漁協共同利用施設の復旧に対する助成措置



要請団

十月六日から八日にかけて県内を襲つた大型低気圧により、下北・太平洋沿岸を中心に防波堤及び施設の損壊や破損、漁船関係では沈没、転覆、破損を合わせて一〇〇隻を超えて、また漁具関係では定置網を中心に流出、全損等甚大な被害を受けたことから、十月二十日に青森県漁業経営安定対策本部・青森県漁業協同組合連合会・青森県定置漁業協会連名により、青森県知事に要請を行なつた。

## 大型低気圧による 漁業被害について 県への要請！

# 大型クラゲの出現状況

昨年、大量発生し深刻な漁業被害をもたらした大型クラゲの来遊が今年も七月二十一日に長崎県対馬の沿岸で確認された。個体数は少ないが直径七〇cm、重さ約二〇kgと大型のものも含まれている。来遊は昨年より約二週間遅いようである。

全漁連と全国底曳連は長崎県の対馬沖合で七月二十一日から海上駆除を開始した。（七月二十八日まで）

九月一日に島根県松江市島根町沖合の定置網に一〇〇〇個体（六〇～七〇cm）が入網、九月三日に京都府京丹後市久美浜町沖の定置網に二〇〇～二〇〇〇個体（五〇cm）が入網した。九月十四日に山形県鶴岡市沖の定置網に二個体（七〇cm）の入網が確認された。九月十五に京都府伊根町沖の定置網に三〇〇〇個体（五〇～一〇〇cm）入網した。九月二十四日に京都府舞鶴市沖の定置網に二二〇〇～二四〇〇個体（一〇〇cm）が入網した。

青森県での大型クラゲは、九月十五日に三沢沖で一個体（八〇cm）確認、十六日には深浦沖で一個体（一〇〇cm）確認された。十月十三日に深浦町船作沖の定置網に二〇〇個体、横磯沖の定置網に六〇〇個体、五〇〇

cmの大きさのものが入網した。

秋田県沖の定置網に十月九日～十三日までの間に二〇〇～六〇〇個体（五〇～一〇〇cm）が入網した。十五日には一〇〇〇～二〇〇〇個体（五〇～一〇〇cm）入網した。二十二日～二十三日にかけて定置網に一〇〇〇～二〇〇〇個体（五〇～一五〇cm）入網した。

青森県深浦町沖の定置網に十五日以降も毎日六〇〇～一〇〇〇個体（五〇～一〇〇cm）入網している。十月二十二日に脇野沢村沖の定置網に七〇～三〇〇個体（七〇～一五〇cm）入網、六ヶ所村沖の定置網にも六〇～一五〇個体（五〇～一〇〇cm）入網している。二十六日に三沢沖の定置網に一〇〇〇個体（三〇～一〇〇cm）入網した。三十日に深浦町北金ヶ沢沖の定置網に四〇〇～二五〇〇個体（五〇～一〇〇cm）、六ヶ所村沖の定置網に三十日に二五〇〇～三〇〇〇個体（三〇～一〇〇cm）、三十一日に五〇〇～二〇〇〇個体（三〇～一〇〇cm）入網した。佐井村沖でも三十一日に定置網に二〇〇〇個体（一〇〇cm）入網しており、一部底建網に被害が出でてきている。今年の場合は昨年ほどの量ではないが、毎日大型クラゲが入網している状況にあります。



11月15日撮影：深浦沖の定置網に入網した大型クラゲ

# むつ湾漁業振興会設立三十周年記念式典・祝賀会



式典風景



祝辞を述べる植村県漁連会長



祝辞を述べる三村県知事



主催者挨拶を述べる三津谷会長

会長は、原子力船「むつ」の出港阻止や放射能漏れ事故、ほたて貝の異常つい死被害を契機とした適正養殖指導、貝毒問題対策のための安全シール管理体制の確立等の三十年間の苦闘の歴史と、昭和五十八年のほたて取扱金額百億円達成、平成十七年の「ほたて広場」開業までの陸奥湾のほたて産業繁栄の道のりを振り返ると共に、当振興会の創設者、植村正治県漁連会長はじめ、関係各位に対する感謝の意を表した。

次に、来賓としてご臨席頂いた三村申吾青森県知事、植村正治県漁連会長から、設立三十周年に寄せる祝辞が述べられ、続いて表彰式が執り行われた。

表彰式では、始めに県知事表彰が行われ、むつ湾漁業振興会の永年に亘る活動を讃えて三津谷会長に表彰状が贈呈されたほか二名の故人が紹介された。



特別功労表彰を受ける植村会長



県知事表彰を受ける三津谷会長



県漁連会長表彰を受ける三津谷会長

当振興会は、昭和五十六年六月四日に設立され、ほたて貝の一元集荷による販売体制の確立や消費の拡大、密漁監視体制の強化や原子力船対策等の漁政公害対策強化のため、「青森県ほたて貝振興会」と「陸奥湾地区漁協経営対策協議会」とが合併した。

式典の冒頭、主催者挨拶に立った三津谷廣明会長は、昭和五十六年六月四日に設立され、ほたて貝の一元集荷による販売体制の確立や消費の拡大、密漁監視体制の強化や原子力船対策等の漁政公害対策強化のため、「青森県ほたて貝振興会」と「陸奥湾地区漁協経営対策協議会」とが合併した。

次に、むつ湾漁業振興会会長表彰に移り、始めに特

別功労者として植村県漁連会長の創設者としての功勞を讃え三津谷会長より表彰状が贈呈された。次に、永年功労員表彰として、永年に亘り振興会の役員を務めた川村副会長、後藤理事、柳谷理事、田中前理事に対し表彰状が贈呈されたほか二名の故人が紹介された。

次に、優良会員表彰として十二会員漁協・支所が紹介され、代表して平内町漁協須藤副組合長に表彰状が贈呈された。

次に、優良加工業者表彰として八社が紹介され、代表として㈱マルイチ横浜の横浜社長に表彰状が贈呈された。

次に、感謝状贈呈に移り、永年に亘り陸奥湾の漁業振興にご協力頂いた四団体に対し感謝状が贈呈された。

## あおもり漁連

【むつ湾漁業振興会会長表彰】  
〔特別功労者表彰〕 柳後川谷  
〔永年功労役員表彰〕 藤谷賀  
一一光治  
殿殿殿

【県知事表彰】 むつ湾漁業振興会  
【県漁連会長表彰】 むつ湾漁業振興会

青森県水産総合研究センター増養殖研究所  
東地方農林水産事務所青森地方水産業改良普及所  
下北地域県民局地域農林水産部むつ水産事務所  
青森県ほたて流通振興協会

受賞者は次のとおり  
谷川出納長の乾杯で祝宴に入り、奈良岡水産局長  
の中締めと万歳三唱により滞りなく終了した。



《優良会員表彰》  
平内町漁業協同組合  
青森市漁業協同組合  
平内町漁業協同組合小湊支所  
平内町漁業協同組合浦田支所  
平内町漁業協同組合清水川支所  
平内町漁業協同組合茂浦支所  
外ヶ浜漁業協同組合蟹田支所  
横浜町漁業協同組合  
平内町漁業協同組合東田沢支所  
蓬田村漁業協同組合  
野辺地町漁業協同組合  
青森市漁業協同組合奥内支所

(故人) 木村中鐵久男  
（故人）三國久治  
殿殿

《優良加工業者表彰》  
成邦商事株式会社  
株式会社マルイチ横浜  
青森県漁業協同組合連合会平内加工場  
株式会社亀田商店  
有限会社北福海産  
日海水産株式会社  
株式会社カクキチ鳥谷部商店



# 「平成十八年度青森県豊かな海づくり大会」開催



「青森県豊かな海づくり大会」会場風景

去る九月九日(土)、

青森市の青い海公園

において、水産資源の回復と森林及び漁場環境の保全等を推進する目的で、「平成

十八年度青森県豊かな海づくり大会」が

県内漁協や水産関係

団体、県議会議員、

沿岸市町村長ら約三

百人の参加を仰ぎ、

盛大に開催された。

式典では、はじめに植村正治大会実行委員会会長(青森県漁連会長)が主催者の挨拶を述べ、続いて、来賓として三村申吾青森県知事の挨拶、そして成田一憲青森県議会議長がそれぞれ祝辞を述べた。

その後、本県水産業活性化の模範となる実績を上げている三個人に對して三村知事より「青森県水産大賞」が贈られた。

表彰に續いて、青森県漁業士会の生駒司さんが「未来の漁業後継者候補のために」と題して、また、青森県漁協女性組織協議会の野坂ナリ子さんが「魅力ある漁業に女性の力を」と題して浜の声をそれぞれ発表した。

最後に、大会決議(案)を川端昭治下北水産振

興会長が朗読し、出席者の満場一致で採択された。

式典終了後は、青森市内の大谷幼稚園児も加わり、漁業資源の回復を願つてヒラメとマコガレイの稚魚約千五百匹がむつ湾に放流された。

また、山・川・海と繋がる水循環システムの保全を願い、「平成十八年度青森県豊かな海づくり大会記念植樹」として、実行委員会より今回六ヶ所村泊漁協へブナ苗木三〇〇本が贈呈された。

○青森県水産大賞受賞個人及び団体は次のとおり。

奥瀬 勇 (馬渕川漁業協同組合長)	佐々木 光夫 (三沢市漁業協同組合理事)
成田 静雄 (岩木川漁業協同組合長)	



県水産大賞受賞者



県漁業士会の生駒さん



来賓三村県知事挨拶



主催者植村会長挨拶



ヒラメ・マコガレイ稚魚放流



県漁協女性組織協議会野坂さん



来賓成田県議会議長挨拶

## 大 会 決 議 (案)

本県は全国でも屈指の水産県であり、これまで県が取り組んできた「攻めの農林水産業」を着実に実践すると共に、栽培漁業及び資源管理型漁業の推進を一層図る必要がある。

しかし、漁業は大変厳しい状況下にある。特に、原油価格が世界的に高騰を続けており、歯止めがかからない状況にある。これらの影響により我々漁業者も大きな打撃を受けている。

さて、今般、県においては漁業の位置付けを高めるために水産局が設置されたところであるが、我々漁業者の思いは魚のいる海であること、漁業者間で共存できる体制、そして素晴らしい青森県の漁業を再生させるため、官民が一体となり取り組んで行く必要がある。更に、地域産業を守るため、今や資源の減少が取りざたされる中で、資源回復計画が大変重要な課題となっている。

また、漁場環境の保全等による安全で安心な水産物の提供が求められている。

よって、私達は青森県の豊かな自然と水産業を後世に継承して行くため、下記のとおりここに決議する。

### 記

1. 山・川・海をつなぐ水循環システムの再生を図り、消費者の求める安全・安心で良質な水産物の安定的な生産・供給を推進する。
2. 水産資源の回復を図り、I Qを守り水産物を持続的に利用するためのルールづくりを推進する。
3. 燃油価格の高騰が続く中で、より効率的な漁業経営を図ると共に、資源管理型漁業の更なる推進を図る。

平成18年9月9日

平成18年度青森県豊かな海づくり大会

# 第六回「青森県和船競漕大会」

## 開催される

去る九月九日、青森市の青い海公園前において、第六回「青森県和船競漕大会」が開催された。

競漕は、始めに、小学生によるボート競漕に十五名が参加し三レース行われた。続いて、和船競漕では、県内の漁協と一般参加者チームの合わせて十八チームが参加の予選三レース行われ、最後に各レースの一位と二位から勝ち進んだ六チームによる決勝レース行われた。出場チームの中には船と船がぶつかり前に進めなくなる場面もあり、白熱した展開が繰り広げられ観客からは拍手や笑いが巻き起こっていた。

この大会は、和船による漁業及び海上交易が盛んであった往時を偲び、小学生によるボート競技や和船とクルマガイ（車櫂）を使用した職場対抗競漕等を実施し、櫂を漕ぐ技法の伝承を図ることにも、この行事を継続的に実施することにより、青森県の夏の風物詩、伝統的な行事を育てることを目的として、毎年七月から九月に開催されており、来年以降も引き続き、和船競漕大会が開催されますので、是非ご参加をいただきますようお願い致します。

〈レース結果は次のとおり〉

【漁協・一般チーム】

優 勝	後潟漁業協同組合
準優勝	青森市漁協ホーブス
第三位	舩作漁業協同組合



表彰式



競漕風景



みちのく銀行上杉会長挨拶

# 平成十八年度 東北・北海道漁協専務参事懇談会開催

去る八月七日、青森市水産ビルにおいて、東北、北海道の漁協の専務、参事等一五〇人が出席し、「平成十八年度 東北・北海道漁協専務参考懇談会」が開催された。

懇談会開催にあたり、青森県漁協専務参事会古川義克会長が主催者を代表し、「漁業を取り巻く環境は、ここ数年来の大型クラゲの大量来襲による漁業被害、更には燃油の高騰等により、漁業者は大きな打撃を受けております。このような状況の中、来年予定されている水産基本計画の見直しを踏まえ、漁協の事業・組織・経営改革を推進し、足腰の強い漁協づくりのため、皆さんと一体となつて取り組んで参りたい。」と挨拶を述べた。

続いて、昨年開催地の岩手県漁協専務参事会議会 杉本功陽会長が参加道県を代表し、挨拶を述べた。

来賓には青森県漁連・植村正治会長、青森県農林水産部・奈良岡修一水産局長、全漁連・宮原邦之専務理事からそれぞれ挨拶を頂いた。基調講演には「水産基本計画見直しに関する中間論点整理」と題して、水産庁漁政部企画課・坂井眞樹課長よりご講演を頂き、その後、各道県による事例発表が行われた。

青森県からは、外ヶ浜漁協の福井光明総務部長が、「外ヶ浜漁協合併の経緯と今後の展望について」と題して、合併までの経緯や今後の課題等について発表を行った。

ついで「漁協の事業・組織・経営改革の取り組みについて」

①北海道「JF南かやべ漁協の新規事業への挑戦」  
テーマ「JF南かやべ漁協の新規事業への挑戦」

南かやべ漁協 専務理事 小川 正毅 氏

②岩手県 「宮古市魚市場における衛生管理の取り組みについて」  
宮古湾漁連 参事 崎山 彰一 氏

③宮城県 「宮城県漁業協同組合（仮称）の設立に向けた取り組みについて」  
歌津町漁協 参事 三浦 英喜 氏

④青森県 「外ヶ浜漁協合併の経緯と今後の展望について」  
外ヶ浜漁協 総務部長 福井 光明 氏

懇談会終了後、交流会が開催され、開会挨拶は青森県漁協専務参事会・山崎文男副会長、乾杯の音頭は北海道漁協専務参事会・織田美登志会長がそれぞれ行つた。交流会では青森ねぶたの海上運行や花火を観覧しながら、各道県の意見交換等親睦を深め合い、閉会時には、宮城県漁協専務参事会・芳賀長恒会長により、閉会が宣され、盛会のうちに終了した。



主催者挨拶する古川会長



植村会長挨拶



懇談会風景



宮原専務挨拶



奈良岡局長挨拶



福井総務部長



坂井課長

# 青森県さけます増殖流通振興協会設立総会開催

昨年来からの懸案でありました、青森県さけます増殖振興協会と青森県さけ流通振興協会の統合に係る総会が十月六日にそれぞれ開催し統合することが異議なく承認されました。

引き続き、青森県さけます増殖流通振興協会の設立総会を開催致しました。設立発起人であります植村青森県漁連会長から設立総会開催に当たり、両団体の発展的解消を図り、もつてさけます産業のますますの振興を図ることを目的に青森県さけます増殖流通振興協会を設立したいとの挨拶がありました。出席者全員から賛同を得られ本日付けで発足いたしました。

青森県さけます増殖流通振興協会は旧団体の事業を引き継ぎ、関係団体が一体となりさけます増殖事業、流通事業の各事業に取り組んで行くことを承認いたしました。

重点推進事項は次の通りです。

## (一) 増殖事業

- ① 河川卵の増大を図るため、河川環境の維持保全による遡上親魚数の増大、施設整備等による効率的な捕獲、採卵に努めます。
- ② 県内海面漁業者の協力による海産卵の確保及び河川卵の余剰ふ化場から不足ふ化場への卵の提供により、稚魚放流尾数確保に努めます。

## (二) 流通事業

### 一・広告宣伝事業

- ① 青森県観光物産館アスパム直売店にプライマディスプレイを設置し、県内外に宣伝を行います。
- ② 県内においてテレビスポット、ラジオスポットを実施し、「北国青森のさけ」の宣伝を行います。
- ③ 新聞、物産ガイド等を実施し、「北国青森のさけ」の宣伝を行います。

### 二・消費拡大事業

- ① 主要消費地で行う全国物産展等に参加し、試食・展示即売を実施して消費拡大に努めるとともに効率的な事業運営を図ります。

- ② 県内外で開催されるイベント等に参加し、消費拡大を図ります。

- ③ 青森県ふるさと食品研究センター及び県漁連等と連携し、さけ製品の商品化を推進します。

- ④ アスパム・空港・立佞武多の館・ほたて広場の水産物展示コーナーの活用、更には関係団体と協調し消費拡大に努めます。



主催者の植村会長



総会風景



# 平成十八年度北海道・東北漁船海難防止連絡協議会



## 青森県で開催



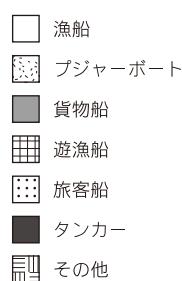
去る、十月十九日青森県水産ビル七階大会議室において、平成十八年度北海道・東北漁船海難防止連絡協議会が開催された。

開催にあたり、北海道漁船海難防止・水難救済センター山田理事長が開会挨拶、来賓挨拶を植村全漁連会長（青森県漁連会長、青森県漁船海難防止・水難救済会長）、大谷第二管区海上保安本部交通部長、坪田青森県農林水産部水產

局水産振興課長が行つた後に、会議に入った。漁船海難の発生状況及び再発防止対策について第二管区海上保安部より説明があり、続いて、協議会構成団体より事業実施状況、今後の取組み等についてそれぞれ担当者が説明した。

本連絡協議会において、救命衣常時着用の推進を図るためにチラシを作成し、推進を図ることとした。

東北地方における漁船海難及び乗組員人身事故の発生内訳



協議会風景



来賓として大谷部長挨拶



来賓として植村会長挨拶



山田理事長主催挨拶

来賓として坪田課長挨拶



## 県内漁協合併進捗状況

——事前認定漁協の合併進捗状況——

8	7	6	5	4	3	2	1	枠組	地区名	漁協数	参加(対象)漁協名	研究会設置	推進協議会設置	会長名	事務局	進捗状況
太平洋海域	津軽海峡海域の1	むつ湾海域の4	むつ湾海域の3	むつ湾海域の2	むつ湾海域の1	日本海海域の2	日本海海域の1	太平洋海域	津軽海峡海域の1	2	岩崎村、大戸瀬、赤石水産	(H17.8.8)	(H17.11.30)	・太田助役 (中泊町)	・加藤助役 (鰺ヶ沢町)	・貝殻魚礁・シェルナースについて
泊、六ヶ所村海水	尻屋、尻勞、猿ヶ森	石持、野牛、岩屋	脇野沢村	むつ市、川内町、横浜町	野辺地町、青森市	後潟、青森市	車力、十三、脇元	下前、小泊	竜飛、三厩村、今別町東部	4	岩崎村、大戸瀬、赤石水産	(H13.12.25)	(H16.9.27)	・貝殻魚礁・シェルナースについて	・石油購買事業等の推進について	一．購買事業の状況について
(H17.8.8)										5	風合瀬	(H16.10.8)	(H17.10.24)	(H17.4.30)	(H17.6.9)	二．最近の石油情勢について
(H17.11.30)																三．潤滑油の基礎知識とギヨレンオイル大漁について
(六ヶ所村)	戸田助役 (東通村)	田野助役 (脇野沢村漁協)	立石組合長 (脇野沢村漁協)	古田助役 (野辺地町)	川村組合長 (青森市漁協)	青森市漁協	今別町西部漁協	小泊漁協	阿部助役 (今別町)	・事前認定(H18.1.25)	・事前認定(H18.1.25)	・事前認定(H18.1.25)	・事前認定(H18.1.25)	・事前認定(H18.1.25)	・事前認定(H18.1.25)	四．貝殻魚礁・シェルナースについて
泊漁協	野牛漁協	むつ市漁協	野辺地町漁協	青森市漁協	今別町西部漁協	小泊漁協	阿部助役 (今別町)	・事前認定(H18.1.25)	五．購買事業の推進等について							
・事前認定(H18.2.20) （基本となる事項、定款作成の基）	・事前認定(H18.1.25) （基本となる事項、定款作成の基）	・事前認定(H18.1.25) （合併に向けた問題点について協議中）	・事前認定(H18.1.25) （合併に向けた問題点について協議中）	・事前認定(H18.1.25) （合併に向けた問題点について協議中）	・事前認定(H18.1.25)	・事前認定(H18.1.25)	・事前認定(H18.1.25)	・事前認定(H18.1.25)	・事前認定(H18.1.25)	・事前認定(H18.1.25)	・事前認定(H18.1.25)	・事前認定(H18.1.25)	・事前認定(H18.1.25)	・事前認定(H18.1.25)	（三）漁協購買事業の現状について	

- 注) 1. 平成10年度合併計画策定時の漁協数：  
沿海地区55、業種別10、合計65漁協
2. 既に合併し、「認定」を受けた漁協：3漁協
3. 現在、合併協議に参加している漁協：沿海地区29漁協  
(不参加漁協：沿海地区21漁協)

## 平成十八年度青森県漁協系統購買担当研修会開催

去る十月二十七日、水産ビル三階会議室において、青森県漁協系統購買担当研修会を開催した。

始めに、県漁連の小出常務理事より主催者挨拶を述べ、業界及び系統団体の担当者から研修内容について説明を行った。

この研修会は、購買事業の業務に必要な商品の知識を習得するとともに、購買担当者相互の交流を深め、系統購買の推進発展を図る事を目的に実施しました。

- 一．購買事業の状況について
  - 二．最近の石油情勢について
  - 三．潤滑油の基礎知識とギヨレンオイル大漁について
  - 四．貝殻魚礁・シェルナースについて
  - 五．購買事業の推進等について
- (一) 石油購買事業等の推進について
- (二) 販促商品の紹介について
- (三) 漁協購買事業の現状について



研修会風景



小出常務主催挨拶

## 県内漁協合併進捗状況

——事前認定漁協の合併進捗状況——

8	7	6	5	4	3	2	1	枠組	地区名	漁協数	参加(対象)漁協名	研究会設置	推進協議会設置	会長名	事務局	進捗状況	
太平洋海域	津軽海峡海域の1	むつ湾海域の4	むつ湾海域の3	むつ湾海域の2	むつ湾海域の1	日本海海域の2	日本海海域の1	太平洋海域	岩崎村、大戸瀬、下前、車力、竜飛、今別町東部、後潟、青森市	5	(H17.8.8)	(H17.10.8)	(H17.10.24)	(H17.4.30)	(H17.6.9)	（六ヶ所村）	（六ヶ所村）
泊、六ヶ所村海水	尻屋、尻勞、猿ヶ森	石持、野牛、岩屋	脇野沢村	むつ市、川内町、横浜町	野辺地町、横浜町	後潟、青森市	車力、十三、赤石水産、脇元	岩崎村、大戸瀬、赤石水産、風合瀬	三厩村、今別町西部	4	(H17.11.30)	(H17.1.26)	(H17.1.27)	(H17.1.27)	(H17.6.9)	（東通村）	（東通村）
(H17.8.8)	(H13.12.25)	(H16.9.27)	(H17.1.26)														
（六ヶ所村）	（六ヶ所村）	（六ヶ所村）	（六ヶ所村）	（六ヶ所村）	（六ヶ所村）	（六ヶ所村）	（六ヶ所村）	（六ヶ所村）	（六ヶ所村）	（六ヶ所村）	（六ヶ所村）	（六ヶ所村）	（六ヶ所村）	（六ヶ所村）	（六ヶ所村）	（六ヶ所村）	
泊漁協	野牛漁協	むつ市漁協	野辺地町漁協	青森市漁協	今別町西部漁協	小泊漁協	鰺ヶ沢漁協	（合併に向けた問題点について協議中）	（合併に向けた問題点について協議中）	（合併に向けた問題点について協議中）	（合併に向けた問題点について協議中）	（合併に向けた問題点について協議中）	（合併に向けた問題点について協議中）	（合併に向けた問題点について協議中）	（合併に向けた問題点について協議中）	（合併に向けた問題点について協議中）	（合併に向けた問題点について協議中）
（本事項協議中）	（本事項協議中）	（本事項協議中）	（本事項協議中）	（本事項協議中）	（本事項協議中）	（本事項協議中）	（本事項協議中）	（本事項協議中）	（本事項協議中）	（本事項協議中）	（本事項協議中）	（本事項協議中）	（本事項協議中）	（本事項協議中）	（本事項協議中）	（本事項協議中）	（本事項協議中）

- 注) 1. 平成10年度合併計画策定時の漁協数：  
沿海地区55、業種別10、合計65漁協  
2. 既に合併し、「認定」を受けた漁協：3漁協  
3. 現在、合併協議に参加している漁協：沿海地区29漁協  
(不参加漁協：沿海地区21漁協)

## 平成十八年度青森県漁協系統購買担当研修会開催

去る十月二十七日、水産ビル三階会議室において、青森県漁協系統購買担当研修会を開催した。

始めに、県漁連の小出常務理事より主催者挨拶を述べ、業界及び系統団体の担当者から研修内容について説明を行った。

この研修会は、購買事業の業務に必要な商品の知識を習得するとともに、購買担当者相互の交流を深め、系統購買の推進発展を図ること目的に実施しました。

- 一．購買事業の状況について
- 二．最近の石油情勢について
- 三．潤滑油の基礎知識とギヨレンオイル大漁について

- 四．貝殻魚礁・シェルナースについて
- 五．購買事業の推進等について

- (一) 石油購買事業等の推進について
- (二) 販促商品の紹介について
- (三) 漁協購買事業の現状について



研修会風景



小出常務主催挨拶

# JF青森県漁連流通課より



## ホタテ カレー (220g×6)



カレーには県漁連平内加工場でボイルしたベビー  
ホタテが6~8個入っており、ホタテ特有の甘み  
が特徴です。

カレーはさほど辛くないので、子供やお年寄りも  
味わって食べることができます。

【むつ湾産】

価格 1ヶ **380円**



## ホタテ シチュー (220g×6)



自然の恵みに育まれた帆立を新鮮なまま使用し、  
コクのあるホワイトソースで美味しいクリームシ  
チューを作りました。

なめらかな優しい味わいをお楽しみください。

【むつ湾産】

新発売!!

価格 1ヶ **430円**

お問い合わせ先 JF青森県漁連流通課 ☎ 017-722-4212

# JF共水連より

## 比べて下さい！ガッチャリガード！

JF共済のチョコーが平成17年6月に新しくなりました。  
以前のチョコーと比べて、現在の浜のニーズに応えられるようになりました！



ガッチャリガードその1

日帰り入院でも  
5日分の保障！

風をこじらせ肺炎で1泊2日入院、  
入院日額10,000円で加入の場合



50,000円を給付！



ガッチャリガードその2

全てのケガ通院を  
5日以上で保障！

足首を捻挫して5日通院、  
通院日額5,000円で加入の場合



25,000円を給付！



新しくなったチョコーは、この他にもガッチャリガードの保障を準備しております。

チョコーについてのお問い合わせは、お近くのJFもしくはJF共水連まで。

**JF共済** <http://www.kyosuiren.or.jp>

# 水産に関する主な動き（7月～10月）

月	事 項	場 所
7月		
1日(土)～2日(日)	八戸沖のスルメイカ漁獲の数量管理に関する船頭間協議会	八戸市
3日(月)	日本海北部海域における安全対策に係る委員会	青森市
6日(木)	八戸沖合底曳きとの漁具被害処理会議	八戸市
7日(金)	平成18年度あわび等撲滅連絡協議会	盛岡市
7日(金)	漁業用燃油価格高騰対策取扱状況報告会	東京都
11日(火)	陸奥湾密漁防止緊急対策会議	青森市
13日(木)	八戸沖の沖底・小型いか釣の安全操業に関する協議会	青森市
21日(金)	2006年度合併等推進全国会議	東京都
21日(金)	陸奥湾夜間合同密漁取締	陸奥湾内
28日(金)	むつ湾漁業振興会通常総会・設立30周年記念式典祝賀会	青森市
31日(月)	水難事故防止対策会議	鰹ヶ沢町
31日(月)～8月3日(木)	(財)青森県沿岸漁業振興協会魚価動向視察調査	北海道
8月		
4日(金)	八戸沖の沖底・小型いか釣の安全操業に関する協議会	八戸市
6日(日)	東日本産地魚市場協会総会	青森市
7日(月)	平成18年度東北・北海道漁協専務参事懇談会	青森市
9日(水)	鰹ヶ沢・深浦地区漁協合併推進協議会	鰹ヶ沢町
9日(水)	日本海北部漁協合併研究会	中泊町
21日(月)	竜飛救難所水難救助訓練	竜飛
23日(水)	平成18年度イカナゴ漁業検討会	青森市
28日(月)	さけふ化放流事業調査計画説明会	青森市
9月		
1日(金)	ホタテガイ加工業者との意見交換会	青森市
1日(金)	青森県ホタテガイ残渣処理協議会	青森市
5日(火)	今別町・外ヶ浜町（旧三厩村）4漁協合併研究会	外ヶ浜町
9日(土)	青森県和船競漕大会・青森県豊かな海づくり大会	青森市
11日(月)	水産基本計画見直しに係る意見交換会	仙台市
11日(月)～13日(水)	むつ湾漁業振興会役員視察研修	北海道
15日(金)	ほたて関係組合長会議	青森市
19日(火)	六ヶ所村地区漁協合併研究会	六ヶ所村
20日(水)	水協法改正に係る説明会	青森市
26日(火)	青森県太平洋沖合のスルメイカ資源管理・利用のあり方検討会	八戸市
28日(木)	青森県定置漁業協会研修会	青森市
29日(金)	各種沿岸漁業と沖合底曳網漁業の操業のあり方意見交換会	青森市
10月		
2日(月)	東通原子力発電所視察	東通村
2日(月)	漁協経営検討会	青森市
4日(水)	水産基本政策の確立を求める全国漁民大会	東京都
5日(木)	大型クラゲ被害防止検討委員会	東京都
6日(金)	密漁取締合同実施訓練	尻屋町
6日(金)	青森県さけます増殖振興協会通常総会	青森市
6日(金)	青森県さけ流通振興協会通常総会	青森市
6日(金)	青森県さけます増殖流通振興協会設立総会	青森市
10日(火)	漁協経営検討会	青森市
13日(金)	販売担当者会議	青森市
16日(月)	青森県定置漁業協会全員協議会	青森市
17日(火)～19日(木)	秋季ホタテガイ実態調査	陸奥湾内
17日(火)	深浦管内漁協経営座談会	深浦町
18日(水)	大型クラゲ洋上駆除に関する緊急会議	青森市
19日(木)	北海道・東北漁船海難防止連絡協議会	青森市
20日(金)	県に対する低気圧被害要請	青森市
24日(火)	低気圧被害対策会議	東京都
24日(火)	海産親魚供給に関する現地協議会	深浦町
25日(水)	海産親魚供給に関する現地協議会	東通村
27日(金)	漁協系統購買担当者研修会	青森市
30日(月)	丸一参議院議員候補者演説会	青森市
31日(火)	青森県漁民大会	三沢市

# 県内漁協職員紹介

## 東通村の概要

東通村は、下北半島の北東端に位置する人口8,021人(2,683世帯)の漁業を基幹産業とする大きな村です。

村内には8つの漁協があり、今回は石持漁協、野牛漁協、岩屋漁協の職員を紹介します。



## 石持漁協



- 1.弓 勝彦
- 2.総務課長
- 3.仕事・酒
- 4.日々努力



- 1.古川 正人
- 2.業務係
- 3.太ること
- 4.どこ屋に行ってきました。落毛、抜け毛でお悩みのあなた、電話してほしいの。一緒に悩んであげます。



- 1.弓 香苗
- 2.管理係
- 3.ビデオ鑑賞、昼寝
- 4.忘れました。昔の自分

## 野牛漁協



- 1.渡邊 代志人
- 2.参事
- 3.映画鑑賞とPとS
- 4.H3から昨日まで▲3,974Kか…。



- 1.三國 文彦
- 2.販売
- 3.なし
- 4.なし



- 1.三國 康人
- 2.販売課
- 3.パチンコ
- 4.特になし



- 1.工藤 比呂子
- 2.庶務、購買
- 3.読書、ウォーキング
- 4.明るく元気いっぱいです。最近脳トレにはまり20才台めざしてがんばってます！



- 1.田村 みのり
- 2.受託信用係
- 3.映画鑑賞
- 4.今年30をむかえ、体と心に風がしみます。



- 1.杉本 猛
- 2.販売係
- 3.パチンコ
- 4.特になし

## 岩屋漁協



- 1.氏名
- 2.担当業務
- 3.趣味・特技
- 4.自己PR



- 1.三國 貢
- 2.総務
- 3.パチンコ(^^)?
- 4.今、パチンコ「エヴァンゲリオン・セカンドインパクト」にはまっています。原作では主人公の碇シンジがATフィールド(心の壁)をみごと打破りましたが私はこれを見事打破することができるのか…。→次回決戦第三新東京市



- 1.角本 栄
- 2.業務
- 3.サーフィン (^-^)!
- 4.家族が命 (ナカリのウソつさです。)

## 編集後記

10月31日(火)の漁民大会では、スタッフの皆さんお疲れ様でした。お陰様で、無事に大会を終わらせることが出来ました。

特に、開催地の三沢市漁協澤口組合長、河村理事はじめ役職員の皆様にはお世話になりました。本紙面をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。